

個別指導	学年	中学校 高等学校	事例	望まない妊娠をしたかもしれない女子生徒への対応
事例の概要	放課後、話がしたいと来室したA子。家庭内のトラブルでよく保健室を利用する生徒であった。最近は交際相手ができる楽しそうに過ごしていた。話をしていくうちに、妊娠の可能性があると打ち明けた。			
対応の流れ				
<p><b>[生徒の相談]</b> 「生理がこない。妊娠しているかもしれない。検査するのがこわい。」</p>				
<p><b>[相談のポイント]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「大切なことを相談してくれてありがとう」「よく話してくれたね」など、生徒の行動や考えを共感的に受け止める。(打ち明けたことや考えたこと、これまでの経緯等)</li> <li>・「体調で変わったことはない?」「予定よりどれくらい遅れている?」など体調に配慮しながら、月経周期・最終月経等自分の体について理解できるようにする。</li> <li>・妊娠について理解できるようにし、検査を受けるように相談を進める。</li> <li>・保護者が知っているかどうか確認をし、保護者にも相談をするように勧める。</li> <li>・病院の検査や保護者への連絡等、生徒自身が自分の意思で行動できるようにする。</li> <li>・困ったことがあった時や悩んだときに、不在で相談できないことがないように、「他に相談できそうな人は」「このことを話してもよい人は」など、他にも相談できそう生徒から聞き出すようにする。</li> <li>・次に相談する日を決めておき、確実に相談体制がとれるようにする。</li> </ul>				
<p><b>[次回の相談に向けて]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「妊娠している」という状況を想定し、個別で対応せず、事前に情報共有をする。 養護教諭・相談員・担任⇒生徒指導⇒管理職</li> <li>・今後の対応について、学校内で事前に検討する。</li> <li>・信頼関係を崩さないよう、プライバシーに配慮し個別指導を進める。</li> <li>・生徒が保護者や関係者と相談できるように慎重に進める。場合によっては、本人に確認の上、この時点で保護者へ連絡することもあり得る。</li> </ul>				
<p>&lt;配慮事項&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒が家庭で相談できるように個別の相談を進めていく。</li> <li>・今後の対応について学校内で連携を図り、学校内で指導の在り方について共通理解する。但し、プライバシー等に配慮し、生徒との関係が崩れないように留意する。</li> <li>・生徒の体調等から、早く病院を受診できるよう迅速な対応を心掛ける。</li> </ul>				